

# 「事故前、川の増水気付いた」

## 愛媛・園児溺死 9人書類送検

業過致死傷容疑

愛媛県西条市で昨年七月、「西条聖マリア幼稚園」のお泊まり保育に参加した園児三人が川遊び中に流され、吉川慎之介ちゃん(当時5)が溺死した事故があり、西条署は二日、業務上過失致死傷の疑いで、幼稚園を運営する学校法人の前理事長の男性(68)と、園児を引率した教員八人の計九人を書類送検した。七月二十日午後二時四

十分ごろ、西条市の加茂川で、浮輪の準備など水難事故の防止策を怠り、増水した川に流された慎之介ちゃんを死亡させ、別の男児と女児の二人(いずれも5)の頭や腕に軽いつぶし傷をさせた疑い。現場では当時、川の上流で降った雨の影響などで約二十〜三十センチの水位が二分ほどで約一倍まで上昇したとされています。

十分ごろ、西条市の加茂川で、浮輪の準備など水難事故の防止策を怠り、増水した川に流された慎之介ちゃんを死亡させ、別の男児と女児の二人(いずれも5)の頭や腕に軽いつぶし傷をさせた疑い。現場では当時、川の上流で降った雨の影響などで約二十〜三十センチの水位が二分ほどで約一倍まで上昇したとされています。

### 息子の死、無駄にしない 母親が手記

「慎之介を突然失った悲しみと苦しみ、いとおしい思いは何ひとつ変わりません」。川遊びで亡くなった吉川慎之介ちゃん(当時5)の母親の優子(48)は、思いをつづった手記を寄せた。



亡くなった吉川慎之介ちゃん(遺族提供)

子。八人の教員が引率する中で起きた事故に、優子さんは「突き付けられた『なぜ?』の自問自答は続き、月日が流れました」と振り返る。

現場となった西条市の加茂川には、ほかの保護者とともに何度も足を運び、水の中へ入った。幼稚園が「安全」「長年通っているから大丈夫」と強調した場所。優子さんは「水の流れは速く、大人でも足を取られる」と記し「単なる水難事故ではない」と訴える。

幼稚園や運営する学校法人には原因の説明を求めたが、「何も話させません」と拒む教員ら。傷つき、失望した

息子の死から見たのは、幼稚園側の「危機管理の不備、子供の命を預かり守る意識の欠如」と指摘。原因を明らかにし、再び同じような事故が起きないように、夫の豊さん(48)と六月、学校や幼稚園の安全を考える会を立ち上げた。

手記は「慎之介の命も、支えてくださっている方々の思いも、積み上げてきたことも、決して無駄にすることを、これから歩んでまいりたいと思えます」と結んでいる。



中日新聞東京本社  
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号  
〒100-8505 電話 03(6910)2211